



強い日差しにも負けず、太陽に向かってヒマワリが大きな花を咲かせています。この夏も猛暑となりそうです。「早寝・早起・朝ごはん」で健康な体を保ち、規則正しい生活リズムで元気に過ごせるようにしましょう。

7月初めころから高熱が出たり、熱が上がったり下がったりする風邪が流行っています。咳や鼻水が続くお子さんも多いです。検温してからの登園は習慣になっているかと思いますが、夜寝る前や、朝起きてからのお子さんの様子(食事が進まない、しゃべらない、動きが少ないなど)いつもと違うな、と感じることがあれば注意しましょう。

エアコンを上手に使用しましょう

室温を設定していても、立っている大人の高さとお子もの高さ、そして寝ている高さによって温度が違います。大人が暑いと思って設定温度を下げると子どもの高さでは冷えすぎていることがあります。子どもの肌を触って冷えすぎているかチェックしてみましょう。扇風機を使用する場合は、子どもの指や髪の毛を巻き込む事故やけがに気を付けましょう。



病後児保育室

病後児保育室 こもれび

〒950-3322

新潟市北区嘉山533番地

TEL025-385-6101

<http://kotorinomori.org>

新潟市の病児・病後児
保育のHPIはこちら



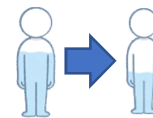
事前登録・送迎登録・送迎面談は予約制となっております。
こもれびまでお電話ください。



こもれび通信は、新潟市病児・病後児保育事業の一環として受託事業者が行う、感染症流行状況や予防策などの情報提供です。

脱水症 注意

子どもの体の70%が水分です！
脱水を起こしやすいので要注意！



体温調節の機能が十分に発達していないにもかかわらず、代謝が活発な乳児・幼児は脱水を起こしやすいので、特に注意が必要です。

・脱水になりやすい条件

・汗をたくさんかいている・喉が痛くて水分が取れない・食欲がなく水分もとれない・嘔吐や下痢をしている

・脱水にならない為に

・外出前後、遊びの前後に水分を少しずつ取る・たくさん汗をかくと塩分も一緒に排出されるので、食事に味噌汁やスープを加える。

子どもは喉が渴いても自分で言えないので、積極的に飲ませましょう。



初期の脱水のサイン

・トイレに行く回数やおしっこの量が少ない(おしっこの色が濃い)
・汗をかいていない・唇や皮膚が乾燥している

脱水のサインが見られたら

・経口補水液(スポーツドリンク)を少しずつ飲ませる
※経口補水液は脱水症状が見られた時に飲むものなので、日常の飲料水として使用すると、塩分・糖分の取り過ぎになるので、注意しましょう。

脱水が進行すると・・・

・顔色が悪い
・ぼーっとしている、元気がない、ぐったりしている
・体温が上がる・逆に皮膚が冷たくなる



こもれびからお知らせ

8月13日(金)はお休みさせていただきます。



こもれび利用状況 (7月)

予約	感冒(風邪)	気管支炎	急性性上気道炎	喘息様気管支炎	キャンセル
31名	12名	4名	1名	2名	12名